

鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会 議論の論点について

深沢らしいまちを形成していくために、まちづくりの目標の中で

「目標 1. 人々が集まり活気のあるまちを実現します」

「目標 3. 地域資源を活かした緑・水の豊かなまちを実現します」

が特に重要であると考えます。また、これを実現するための主要なまちづくりの要素として、

②賑わい、③交流、④歴史、⑤安全・安心、⑥緑・水などを意識する必要があります。

また、過去の検討経緯より、都市基盤施設として「シンボル道路沿い」と「まちかど広場」が特に地区を印象づける空間となると考えられていることから、今回の委員会では「シンボル道路沿い」と「まちかど広場」を中心にご審議して頂きたいと考えています。

■審議事項

論点 1：シンボル道路沿いの整備イメージ（P 1 8）

○シンボル道路沿いの空間として重要視することは何か

- ・過去の検討経緯において重要視されていることは、①豊かな緑、②賑わい集う空間、③歩きたくなる歩行空間の3つに整理されます。シンボル道路を整備する上で重視する点として、この3点が相応しいでしょうか。
- ・これら全てを実現するための課題は何でしょうか。またその対応策は何があるでしょうか。
- ・3点のうち、特に重要視すべきものは何でしょうか。

○シンボル道路の整備イメージについて

ア) 豊かな緑のイメージ（緑量の確保）

- ・シンボル道路としてふさわしい緑のボリュームと連続性、樹種（常緑・落葉、花の有無、高木・中木、地元樹種の活用等）のイメージ

イ) 賑わい、交流等の活動イメージ、空間の利用イメージ（賑わいの創出）

- ・どこからどのような人が集まり、どのような活動（賑わい）が期待できるでしょうか。（沿道商業と連携し、大学生が集い交流するイメージ、家族が買い物を楽しめるイメージなど）
- ・周辺地域や来街者による交流としてどのようなものが考えられますか。（深沢夏まつり等、季節に応じたイベントの開催等）

ウ) 歩きたくなる歩行空間のイメージ（快適な歩行空間づくり）

- ・地域住民だけでなく来街者も利用する安全・安心な歩行空間のイメージ、他の道路との差別化（シンボル道路においては車の出入りを禁止する等）の方法

論点 2：まちかど広場の整備イメージ（P 2 0）

○まちかど広場の役割について

- ・まちかど広場の役割として重要なことは何でしょうか。
- ・例えば、地区外との主要結節点では①シンボル性（ゲート性）、商業施設に隣接する広場では②賑わい空間、歩行者ネットワークとしての地区外との結節点では③交流空間を重視する等

○まちかど広場の整備イメージについて

ア) 賑わい、交流等の活動イメージ、空間の利用イメージ

- ・場所毎のまちかど広場の使い方の違いはどうでしょうか。（どんな人が集まり、どのような活動、交流ができれば良いでしょうか。）

イ) 地域資源（緑・水、歴史）の活用のイメージ

- ・地区のゲート空間であり、周辺地域と地区を結ぶ空間として、どのような地域資源（緑・水、歴史）の活かし方が考えられるでしょうか。どのようなことを実現できれば良いでしょうか。

※第3回以降の委員会において、建築物等の誘導方策（建物の形態・意匠、低層部(沿道)のしつらえ等のイメージ等）、公民連携によるまちづくりの実現（ガイドラインの運用・活用方針等も含む）についてご審議頂く予定です。また、過去の委員会におけるキーワードとして眺望やスカイラインについても、VRを予定する次回委員会でご審議をお願いしたいと考えています。